

# 週刊 タバコの正体

皆さんが生まれたのは2000年以降ですから、その昔、世間の至る所でタバコの煙が漂っていた時代は知るはずがありませんよね。そこで、下の表を見てください。今から40年前の1978年には、どの駅でもタバコを吸いながら電車を待つ人が大勢いました。新幹線の中も禁煙なのは1両だけで車内は煙でモウモウとしていました。学校の職員室では先生の机に灰皿があり、日常的に煙が漂っている状態でした。さらには、病院の待合室にも灰皿があり、喫煙しながら診察を待っていたと言うのですから、ビックリしますよね。

74.7% → 成人男性喫煙率 → 27.8%

当時、タバコの有害性を知っている人は極めて少なく、「タバコは嗜好品しこうひん」なので、成人男性がタバコを吸うのは当たり前だという風潮があり、喫煙率は74.7%もありました。

しかし、40年後の現在、喫煙率は27.8%まで低下し、鉄道、病院、学校、タクシー、旅客機が全面禁煙なのは当たり前となりました。

この傾向はこれからも続くでしょうから、タバコを吸わない君たちの子供が高校生になる頃には、タバコはなくなっているかも知れません。

産業デザイン科  
奥田 恭久

1978年	40年間の「たばこ事情」の変化		2018年
新幹線こだま号の1両にだけ禁煙車。駅ホームや構内の規制はほとんどなし	鉄道		新幹線など一部に「喫煙ルーム」が残る。駅構内はほぼ全面禁煙
待合室でも喫煙自由。78年に国立病院の待合室が初めて禁煙に	病院		病院内は全面禁煙。「禁煙外来」の保険診療は屋外も含めた敷地内禁煙が条件
学校の職員室は大半が喫煙自由。禁煙教育もほとんど実施されず	学校		和歌山県が02年度から敷地内全面禁煙にし、各地に波及
禁煙タクシーはゼロ	タクシー		全国約26万台の93%以上が禁煙
機内の規制なし	旅客機		99年以降、全面禁煙
ごく少数が禁煙・分煙を実施	民間企業		大企業で禁煙・分煙が進むが、中小や零細企業は不十分
規制する店はほとんどなし	飲食店		屋内原則禁煙の改正健康増進法と東京都条例が成立(20年から規制)
規制する自治体はなし	ポイ捨て・路上喫煙		02年に東京都千代田区が初の規制条例施行。約50自治体が続く
約21万台(ピーク時は60万台超。08年のタスポ導入以降急減)	たばこの自動販売機		約17万台(17年)
約1兆1600億円	たばこ税収		約2兆1200億円(16年度)

※タバコ問題情報センター・渡辺さん作成の資料より  
毎日新聞 HP から